

国立駅周辺まちづくり基本計画(案)
中間のまとめ市民説明会

国立市

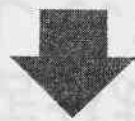
1. 国立駅周辺まちづくりの理念・目標・方針

- 国立のまちは駅、駅前広場、大学通りなどを骨格として形成され、駅前は象徴的な景観が形成され、また市民が交流する広場として利用されてきました。
- JR中央線の連続立体交差事業（高架事業）は、まちづくりの大きな転換点となるものであり、高架事業を駅周辺のまちづくりに活用し、まちの魅力化を図っていく必要があります。
- 市民が快適にまちなかを歩き、緑に包まれたまちなみを楽しみ、国立らしい個性的なお店があり新しい文化を発信していく、そのようなまちづくりを目指していきます。
- そこで、駅周辺のまちづくりの理念を「まちと人がつながる、緑と文化の国立広場 《森の駅》」と設定し、以下のようにまちづくりの目標を掲げます。

◆まちづくりの理念・目標

(平成16年3月に国立駅周辺まちづくり検討会でまとめられた「国立駅周辺まちづくりに関する提案書」に基づき決めました)

理念: まちと人がつながる、緑と文化の国立広場 《森の駅》



目標

- ① 国立駅周辺の交通処理を一体的に行い、歩行者中心のエリアとします
- ② 南北の市街地の一体化を図ります
- ③ 南口駅前広場を、市民が交流する「広場」として整備活用します
- ④ 赤い三角屋根の旧国立駅舎を、駅や広場と一体的に復原活用します
- ⑤ 北口に緑を配置するなど魅力を高めます
- ⑥ 東側高架下と北口商店街の一体的活用を図ります
- ⑦ 南口公共施設等用地・高架下・総研線跡地の一体的活用を図ります
- ⑧ 南口公共施設等用地の可能性を活かした活用を図ります
- ⑨ 駅前広場や高架駅のデザインを個性的にします
- ⑩ 国立駅周辺での、安全・安心・バリアフリーの環境づくりや環境負荷を低減するまちづくりを進めます

◆国立駅周辺まちづくり基本方針

(平成16年3月に国立駅周辺まちづくり検討会でまとめられた「国立駅周辺まちづくりに関する提案書」に基づき決めました)

- 1 連続立体交差事業で生み出される空間は、他の空間との一体性を含め、最大限活用できるようにします。
- 2 人が集い、まちとして個性的な求心性が生み出せるまちづくりをします。
- 3 既存の商業基盤との整合を図り、商業振興につながるまちづくりをします。
- 4 文化を発信し、文化を育む施設の集積を図るとともに、駅周辺に少ない公共施設の整備を図ります。
- 5 南北道路や側道の整備を行うとともに、交通体系を見直し、駅周辺の交通緩和を図り、駐車場及び自転車駐車場対策を行います。
- 6 駅周辺のシンボルとなってきた要素を最大限活かし、新たな活力が生み出せるような整備をします。
- 7 お年寄り、子ども、しょうがいしゃに配慮し、環境にもやさしいまちづくりを推進します。
- 8 積極的に民間活力の導入を検討し、財政フレームとの整合を図り事業を推進します。
- 9 市議会の同意を得て、さらに多くの市民参加により合意形成を図り、また、東京都、J R 東日本及び関係機関と協議を行っていきます。

2. 市民アンケートによるまちづくりのイメージ

- 市民アンケートでいただいたご意見から、将来のまちづくりに関する内容を整理しました。
- ご意見の内容を大きく、4つに分類しました。

1. 今のまちの雰囲気・緑・景観などを重視した意見

2. にぎわいや利便性などを重視した意見

3. 交通の便利さや安全で快適な道づくりに関する意見

4. その他の主要な意見

1. 今のまちの雰囲気・緑・景観などを重視した意見

- ・落ち着いたまちなみ、緑や季節感のあるまちなみをつくる
- ・駅前や駅周辺に高層の建物は規制する
- ・ゆとりのあるまち、シンプルなまち、すっきりとしたまち
- ・文教都市らしさ、文化・教育を大切にしたまちづくり
- ・統一感のある景観づくり、静かで上品なまち
- ・旧駅舎はまちのシンボル、復原してブランド化、公共施設やギャラリー
- ・今のままで、あまり開発はしないようにしたい
- ・歩いて楽しめるまちづくり、個性ある店舗で買い物のできるまち
- ・歩行者や自転車で快適なまち、店先に駐輪場
- ・小規模な店舗の集積による歩行者専用の通りづくり
- ・休憩できるスペース、ベンチ、駅前に子どもなどの集合場所、公園
- ・気軽に多くの人が集まれる場所や施設
- ・駅前の円形広場の魅力化（歩いていける、季節の花、緑を増やす）

2. にぎわいや利便性などを重視した意見

- ・特徴のある専門店が増えるとよい
- ・ショッピングセンター、大型の専門店、複合施設など、新しい商業施設の整備
- ・空き店舗をなくしてにぎわいを出す、活気のあるまち
- ・商業施設、ホテル（北口）、立川に出ないで買い物のできるデパート
- ・雨の日にもまちに出て買い物などができる施設
- ・余所から人をひきつける新しい施設、展示発表の場所、鉄道関連のイメージ
- ・税の増収につながる開発が必要
- ・世界の一流文化に触れられるまち、新たな国立ブランドを発信するまち

3. 交通の便利さや安全で快適な道づくりに関する意見

- ・ 南北の行き来を便利にしたい、南北を連絡する道路の整備
- ・ 通過交通や停駐車をなくす、人が歩きやすいまちや通りにする
- ・ 放置自転車をなくす、駐輪場を整備する、大学通りに駐輪場を増やす
- ・ 大学通りの自転車専用道路を安全に（拡幅、相互通行化、通行禁止）
- ・ 駅前には多くの人ができる広い広場空間、緑の空間にする
- ・ 駅前での駐車場整備
- ・ コミュニティバスを増やす、路線バスのバス乗り場を便利にする
- ・ 自家用車での送迎、一時停車のスペースがほしい
- ・ 駅周辺は歩行者中心で車は規制する
- ・ 駅前ロータリーを安全にする（交通規制、信号）
- ・ 車の安全、車道の確保、路上駐車対策
- ・ 駅周辺のバリアフリー、車の排除、赤ちゃんを連れてまちに出られる環境

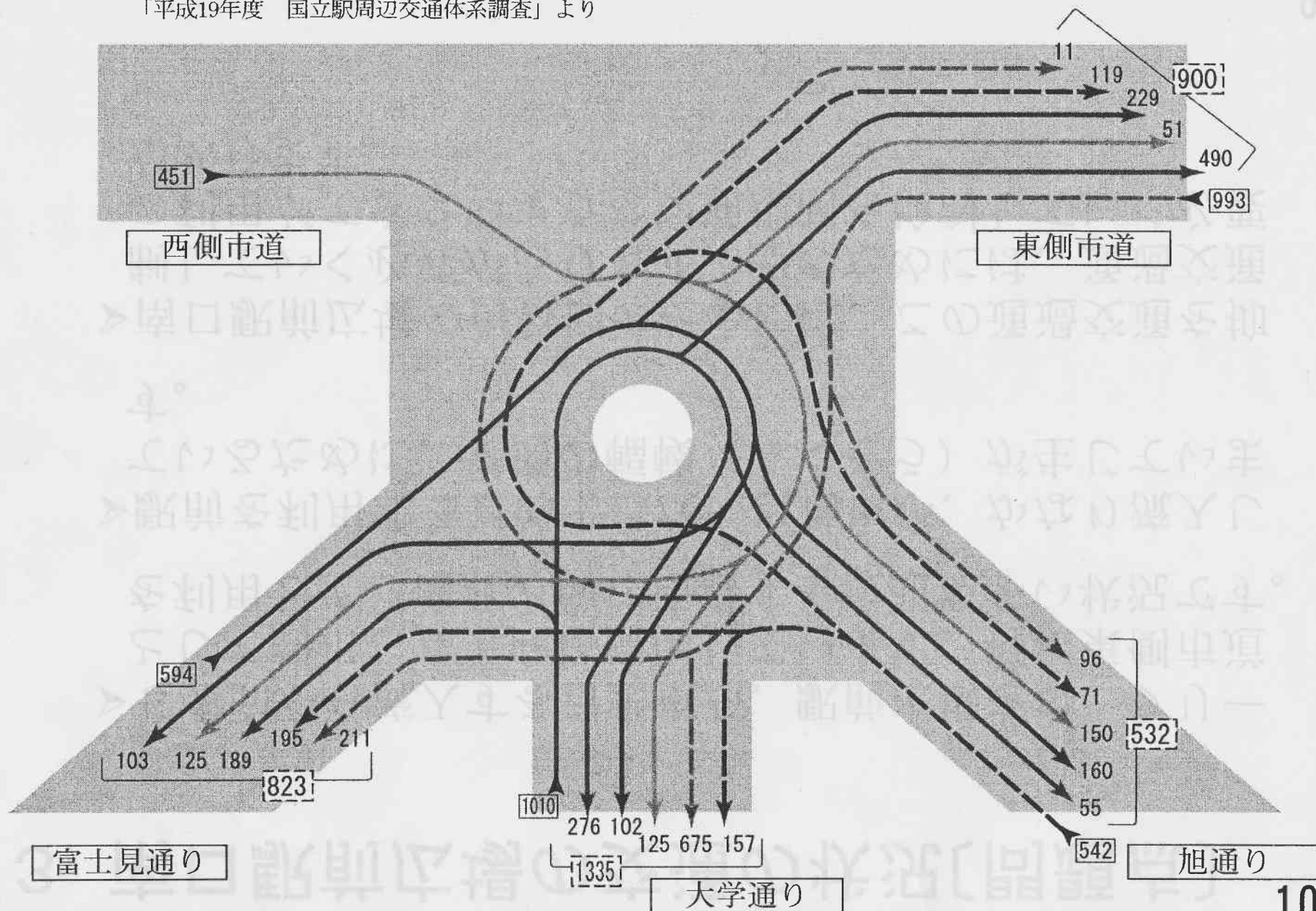
4. その他の主要な意見

- ・ 高架事業が完了してからじっくりとまちづくりに取り組むのがよい
- ・ 大学の開放、市民が観賞できる空間にする
- ・ 看板類の規制、統一
- ・ 駅周辺に図書館、児童館、ギャラリー、ホール、市役所出張所
- ・ まちなかの店舗の騒音対策、静かな環境がほしい
- ・ 大学通りの緑化の工夫（四季の花、統一感のあるデザイン）
- ・ 旧駅舎の復原保存に多額の費用をかける必要はない
- ・ 大道芸、ストリートライブ、歩行者天国、オープンカフェ、アートイベント

3. 南口駅前広場の交通の状況〔問題点〕

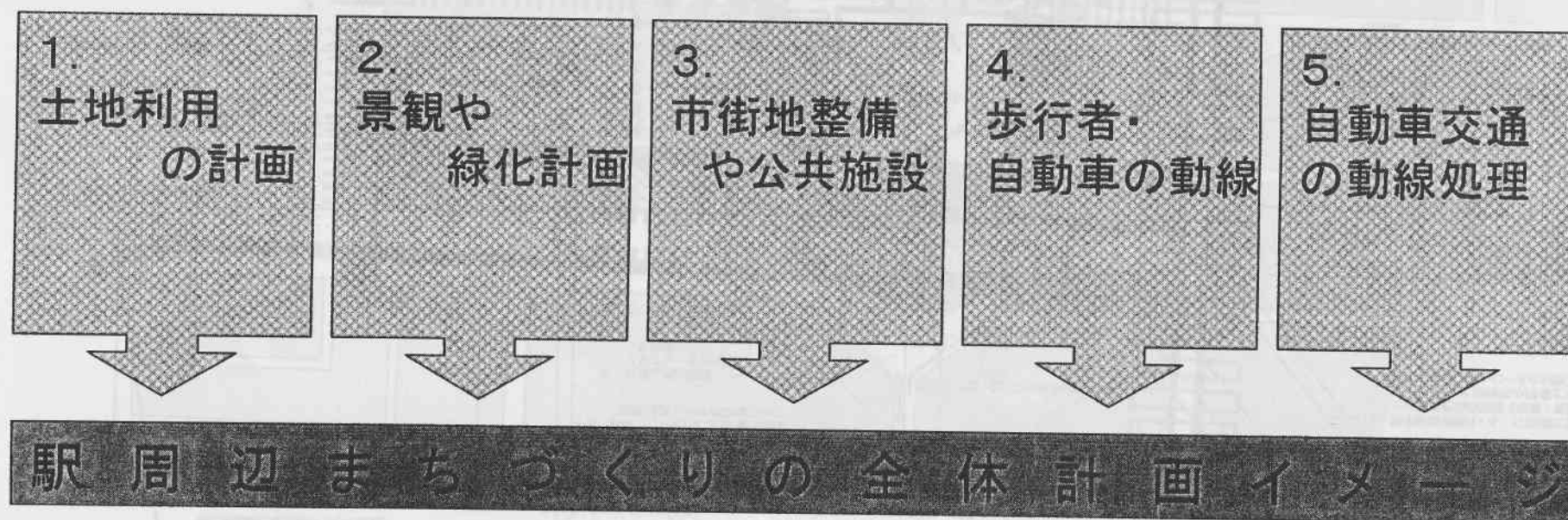
- 5方向から流入する自動車が、駅前広場をロータリーとして利用し4方向に流出しています。特に東側市道を利用して、南北方向に通過する交通が多い状況です。
- 駅前を利用する目的ではない自動車が、かなり流入しているために、交通の輻輳（ふくそう）が生じています。
- 南口駅前広場の再整備のためには、この通過交通を抑制していく必要があります。そのためには、通過交通の利用ができないような交通規制を検討していく必要があります。

※平成19年7月10日（火）7：00～10：00の3時間
「平成19年度 国立駅周辺交通体系調査」より

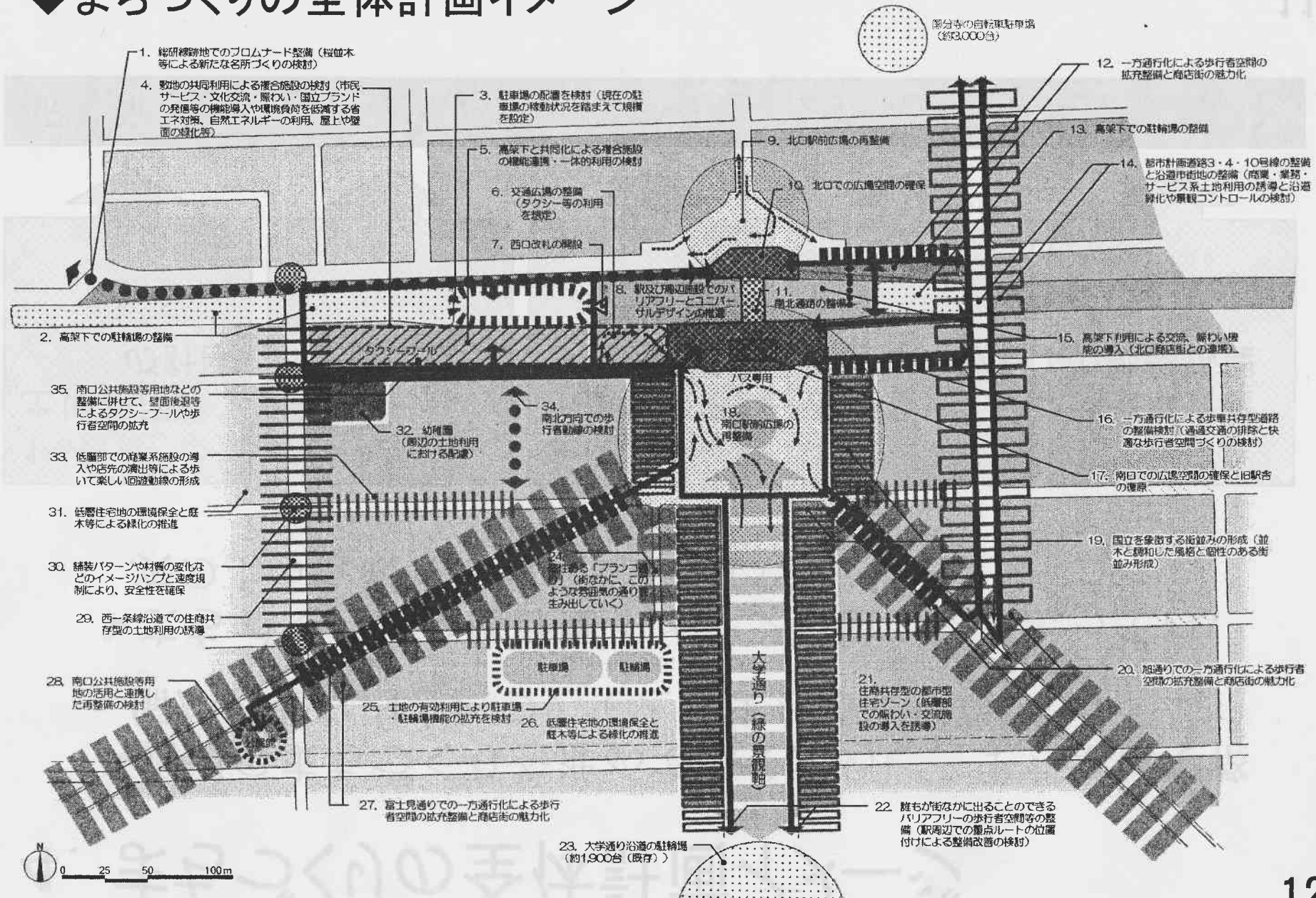


4. まちづくりの全体計画イメージ

- ▶ 周辺のまちづくりを進めていくために、まち全体で整備が必要な内容についてとりまとめました。
- ▶ まちづくりの全体計画イメージの検討にあたっては、次のような観点から検討していきました。



◆まちづくりの全体計画イメージ



5. 南口駅前広場の整備イメージ

【基本的な考え方】

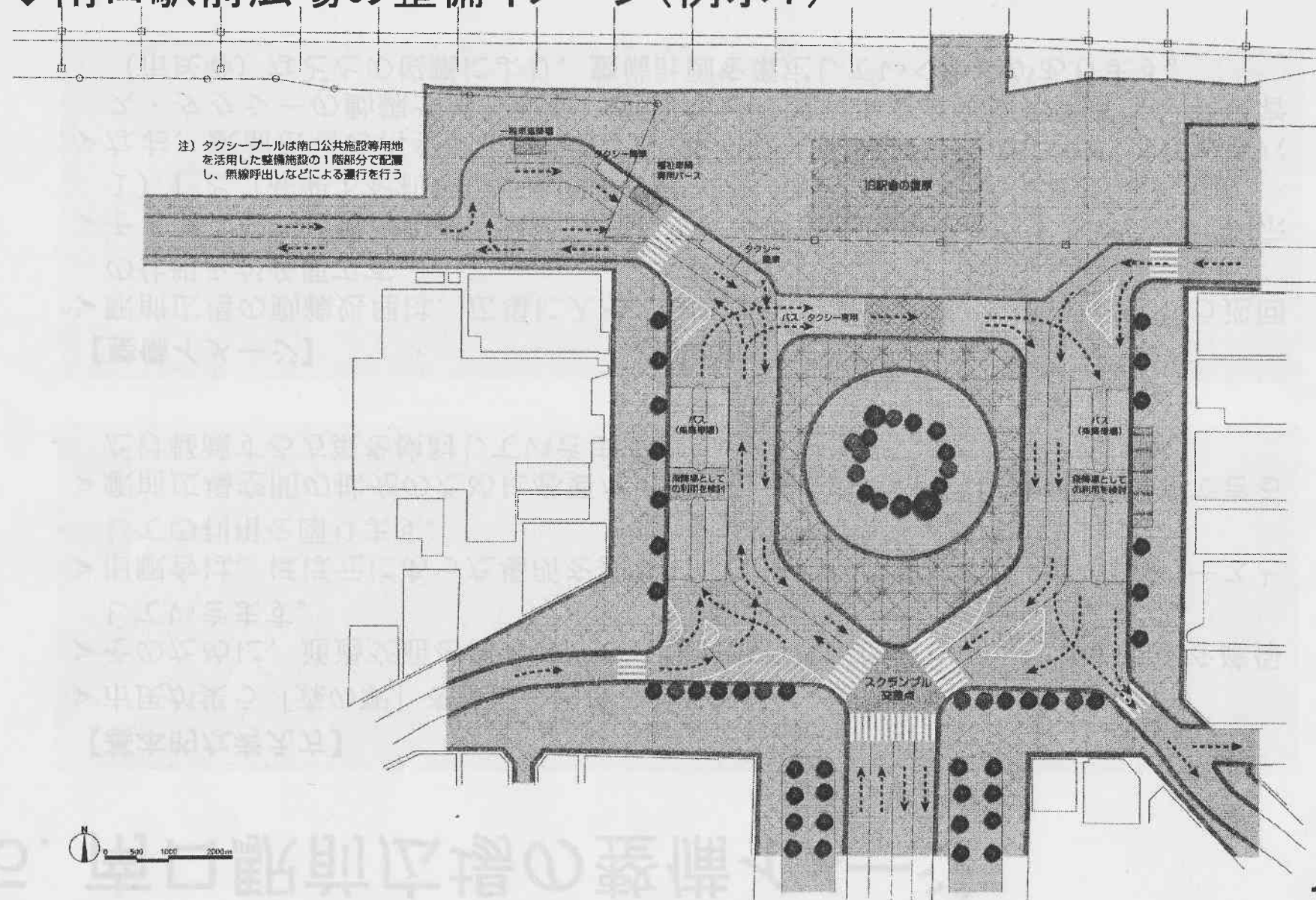
- 市民が集う「森の駅」を整備の目標とします。
- そのために、通過交通を極力排除し、駅前から円形広場への歩行者の動線を確保していきます。
- 旧駅舎は、ほぼ元にあった場所を基本にして復原し、憩いや展示等のスペースとしての利用を図ります。
- 駅前広場空間の拡充のために必要な用地の確保にあたっては、財政負担をできるだけ軽減する方策を検討していきます。

【整備イメージ】

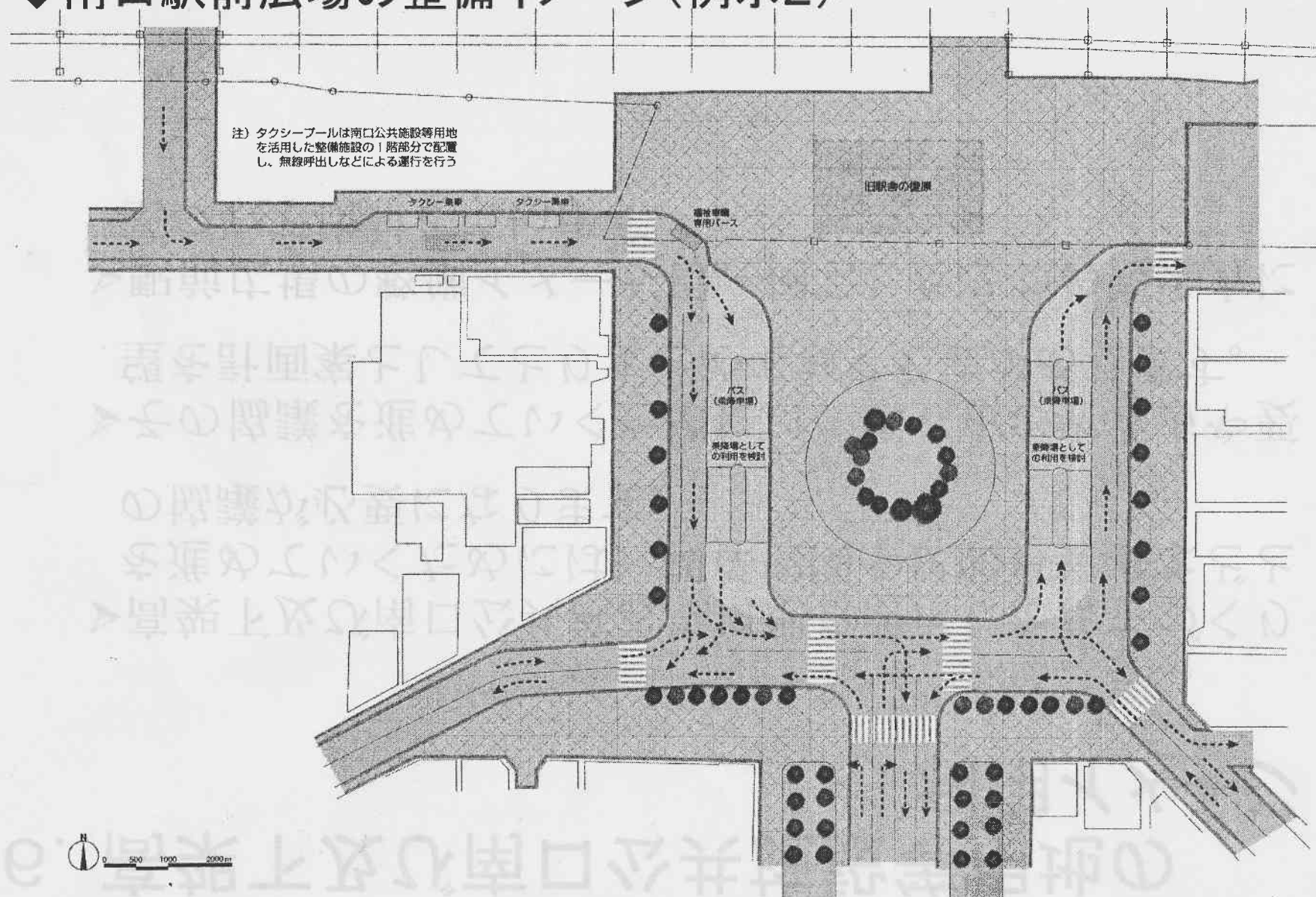
- 駅前広場の動線処理は、広場に入ってきた車が広場から戻っていく、という巡回の仕組みが必要です。
- そこで、駅前広場の整備イメージとして、「駅前広場内で巡回する考え方（例示1）」と「高架下を利用して巡回する考え方（例示2）」を示します。
- なお、駅前広場の再整備に関しては、南口公共施設等用地の活用のあり方やバス・タクシーの動線や施設配置の処理など、関係事業者・交通管理者・利用者（市民等）などとの協議により、整備計画を策定していく必要があります。

◆ 南口駅前広場の整備イメージ（例示1）

◆南口駅前広場の整備イメージ(例示1)



◆南口駅前広場の整備イメージ(例示2)



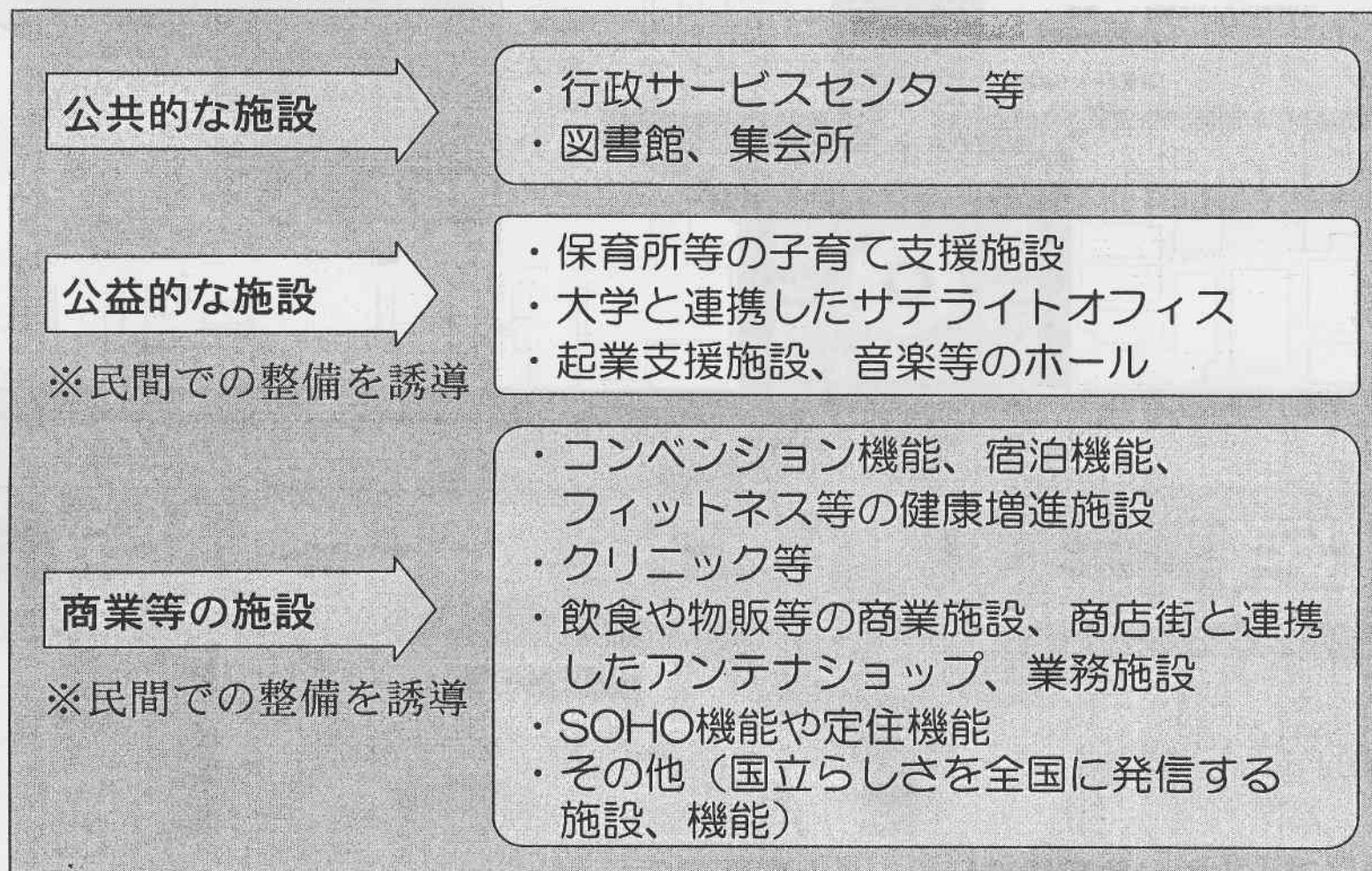
6. 高架下及び南口公共施設等用地の 利用イメージ

- ▶高架下及び南口公共施設等用地を活用したまちづくりを進めていくためには、関係機関や民間事業者などとの協議が必要になります。
- ▶その協議を進めていくためには、国立市の考え方や要望を計画案としてとりまとめる必要があります。
- ▶駅前広場の整備イメージは、例示した2つの考え方に基づいて検討しています。

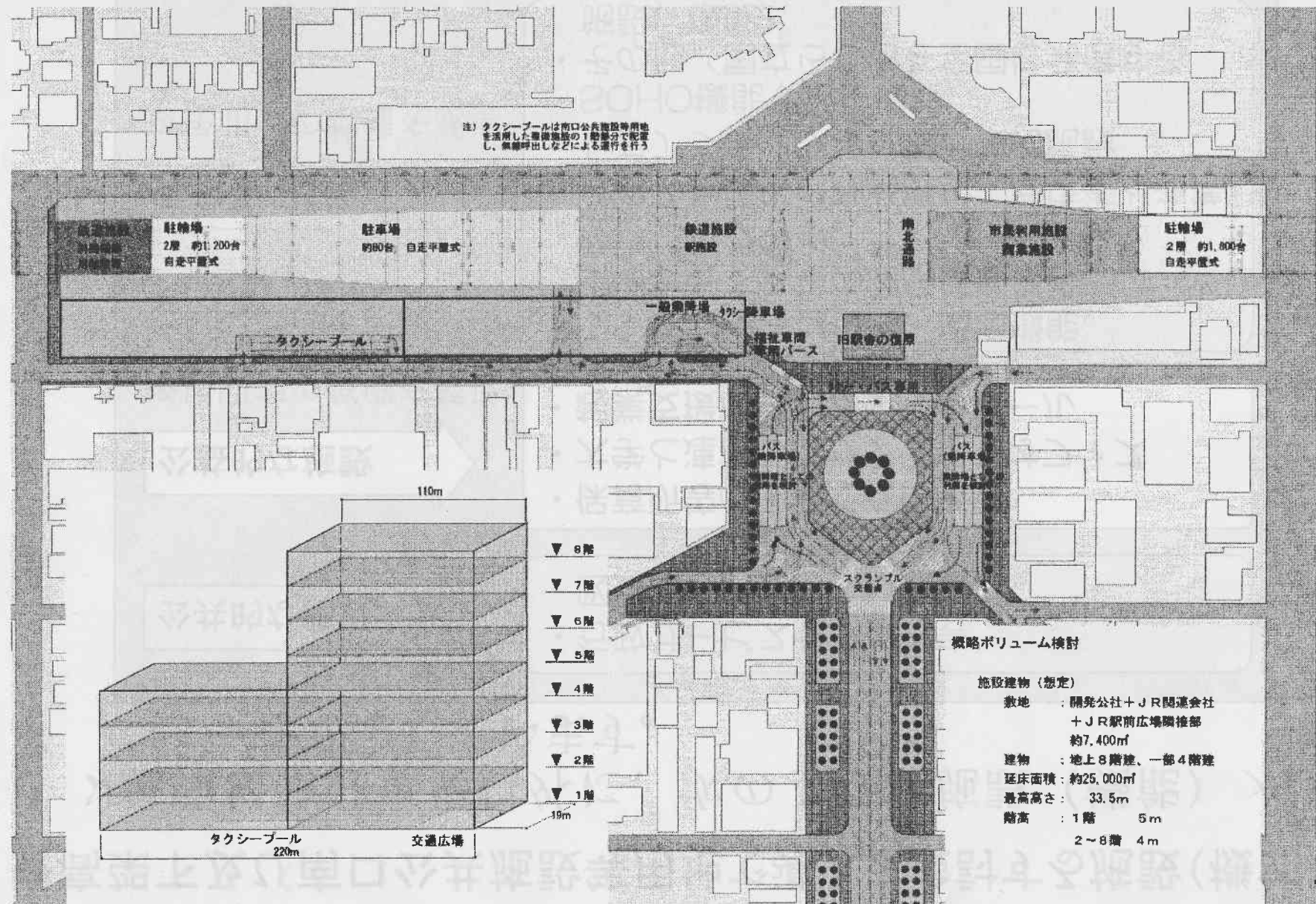
◆南口駅前広場の整備イメージ(例示5)

◆高架下及び南口公共施設等用地で導入を検討する施設（機能）

➤駐輪場や駐車場以外に、次のような施設（機能）メニューを想定しています。

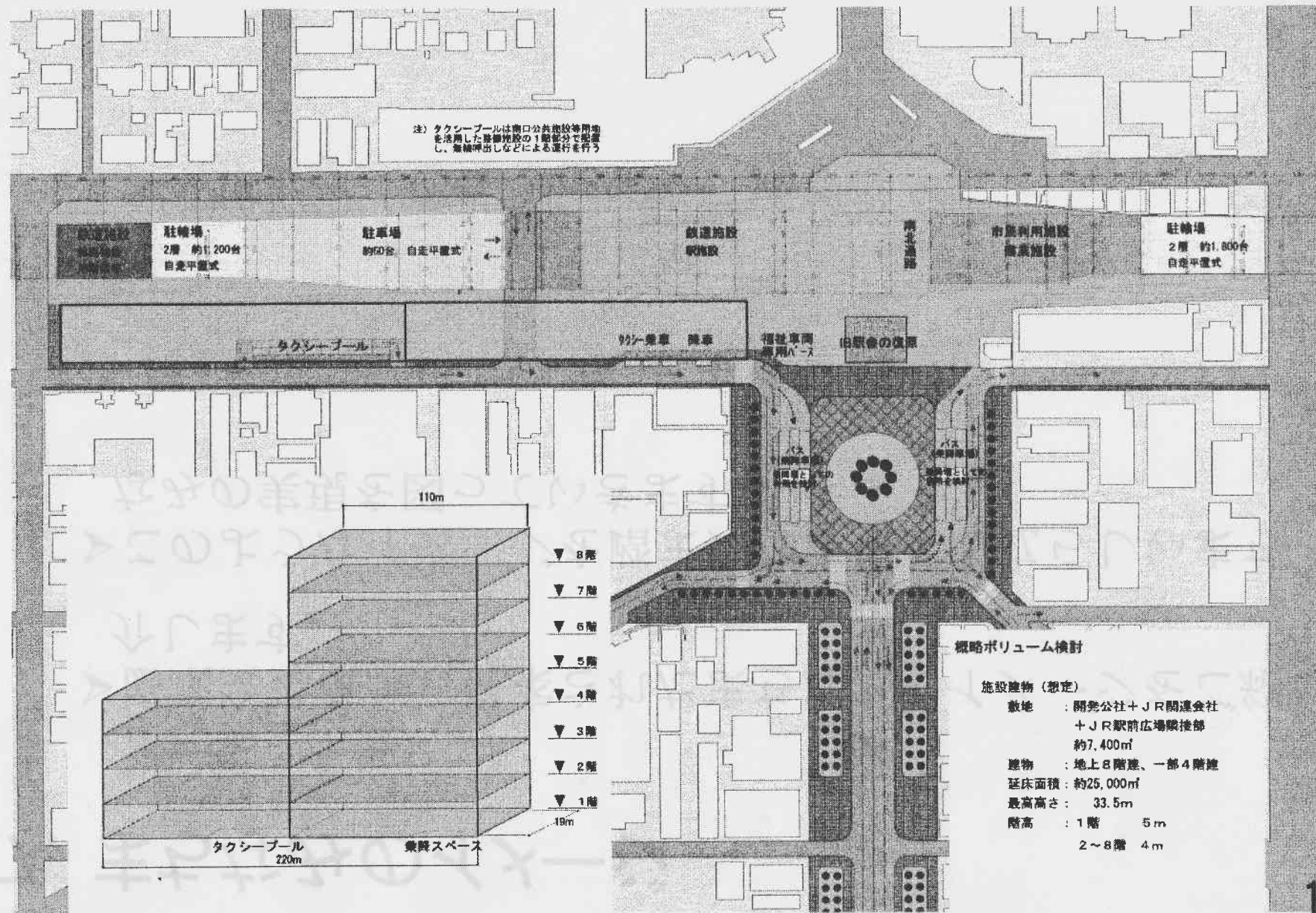


◆高架下利用及び南口公共施設等用地を活用した整備イメージ（駅前広場の例示1に対応）



◆高架下利用及び南口公共施設等用地を活用した整備イメージ（駅前広場の例示2に対応）

50



19

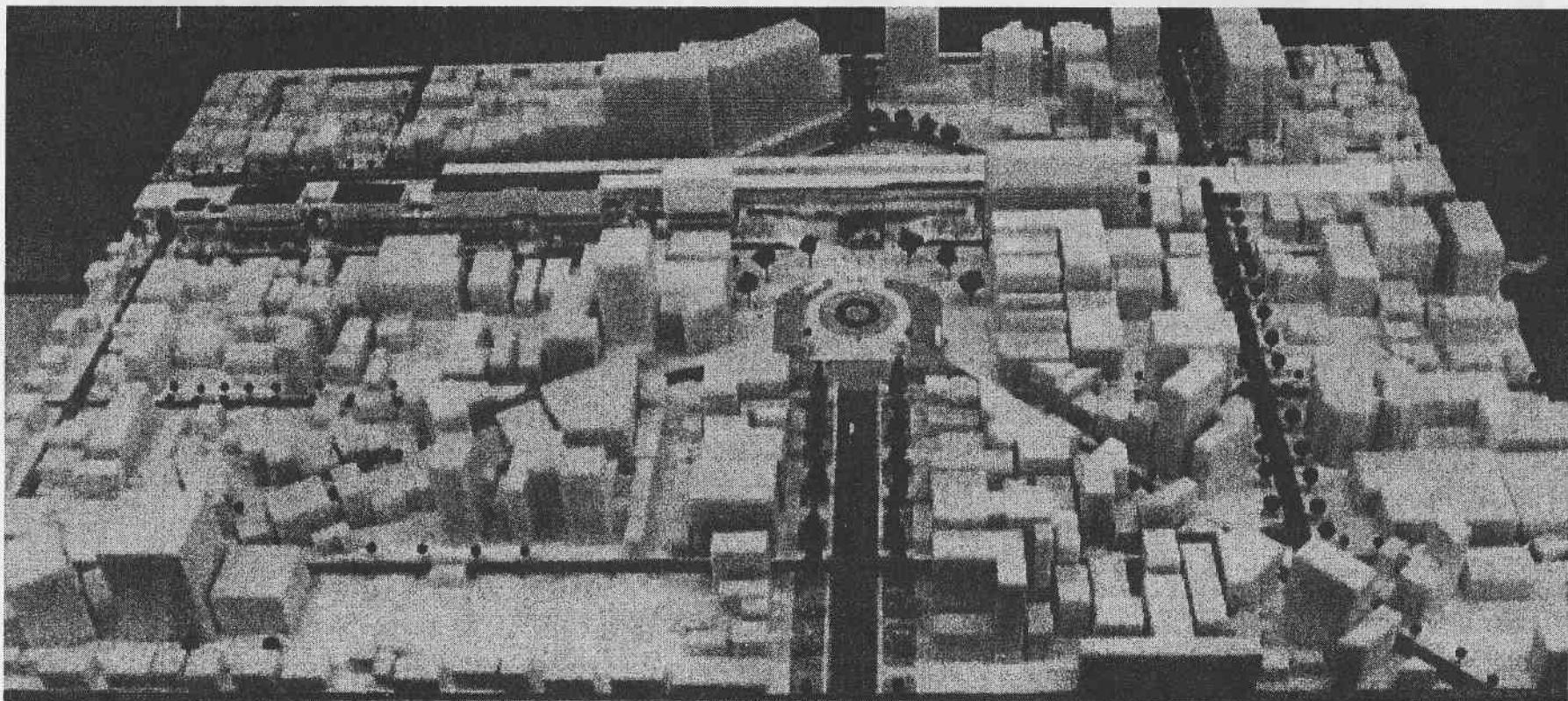
7. まちなみのイメージ

- ▶協議会委員から提案されたまちなみのイメージをご紹介します。
- ▶このようなイメージを踏まえながら、国立らしいまちなみの実現を図っていきます。

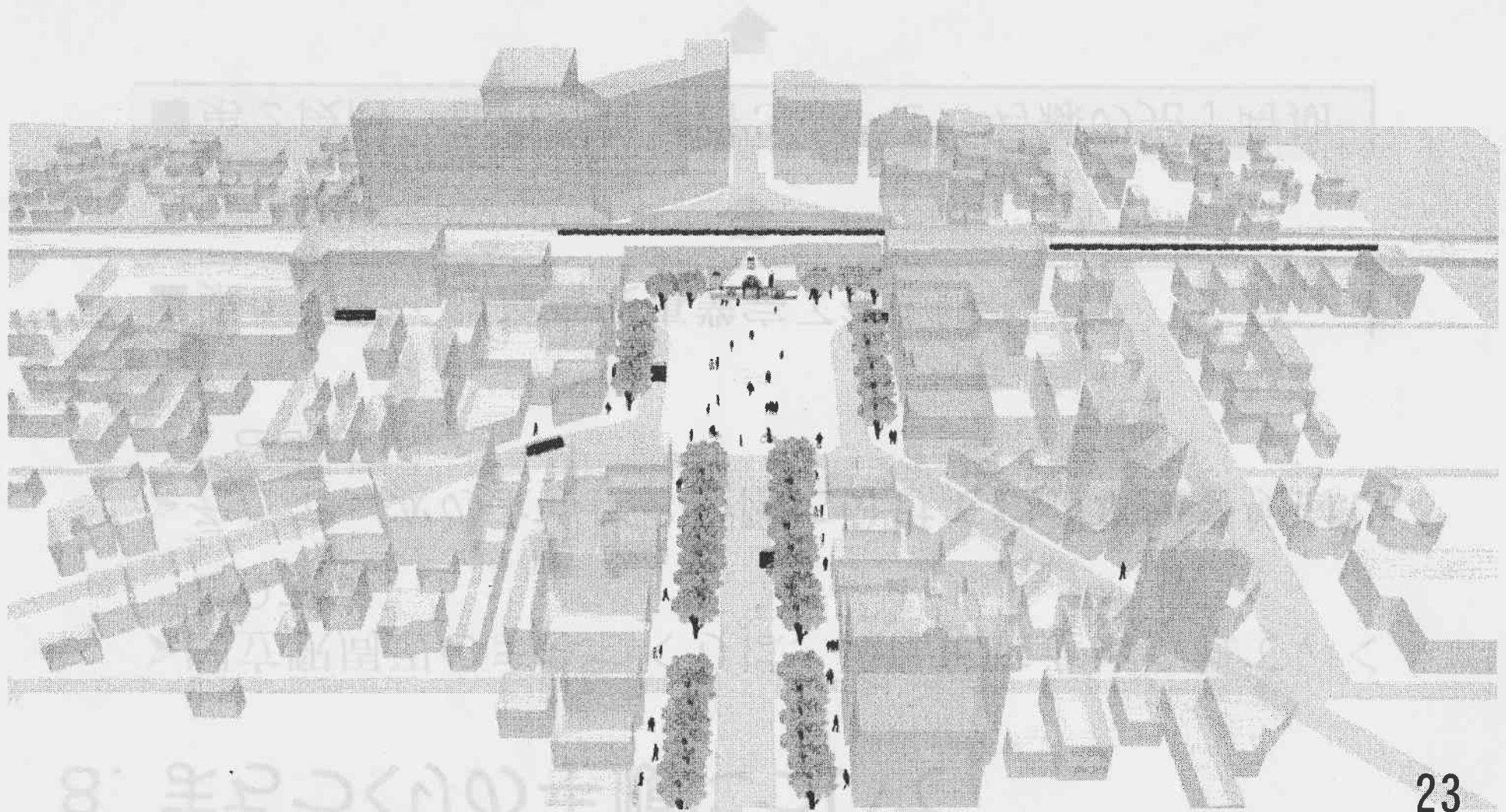
◆例えば南口駅前では...〔協議会委員提供資料〕



◆例えば南口駅前では...〔協議会委員作成模型〕



◆例えば大学通りから見た駅前は...〔協議会委員提供資料〕



8. まちづくりの手順について

- ▶国立駅周辺のまちづくりは、段階的に進められていくものです。
- ▶そこで、次のように3段階に分けて整備事業を検討していきます。

■第1段階：鉄道高架事業完了後

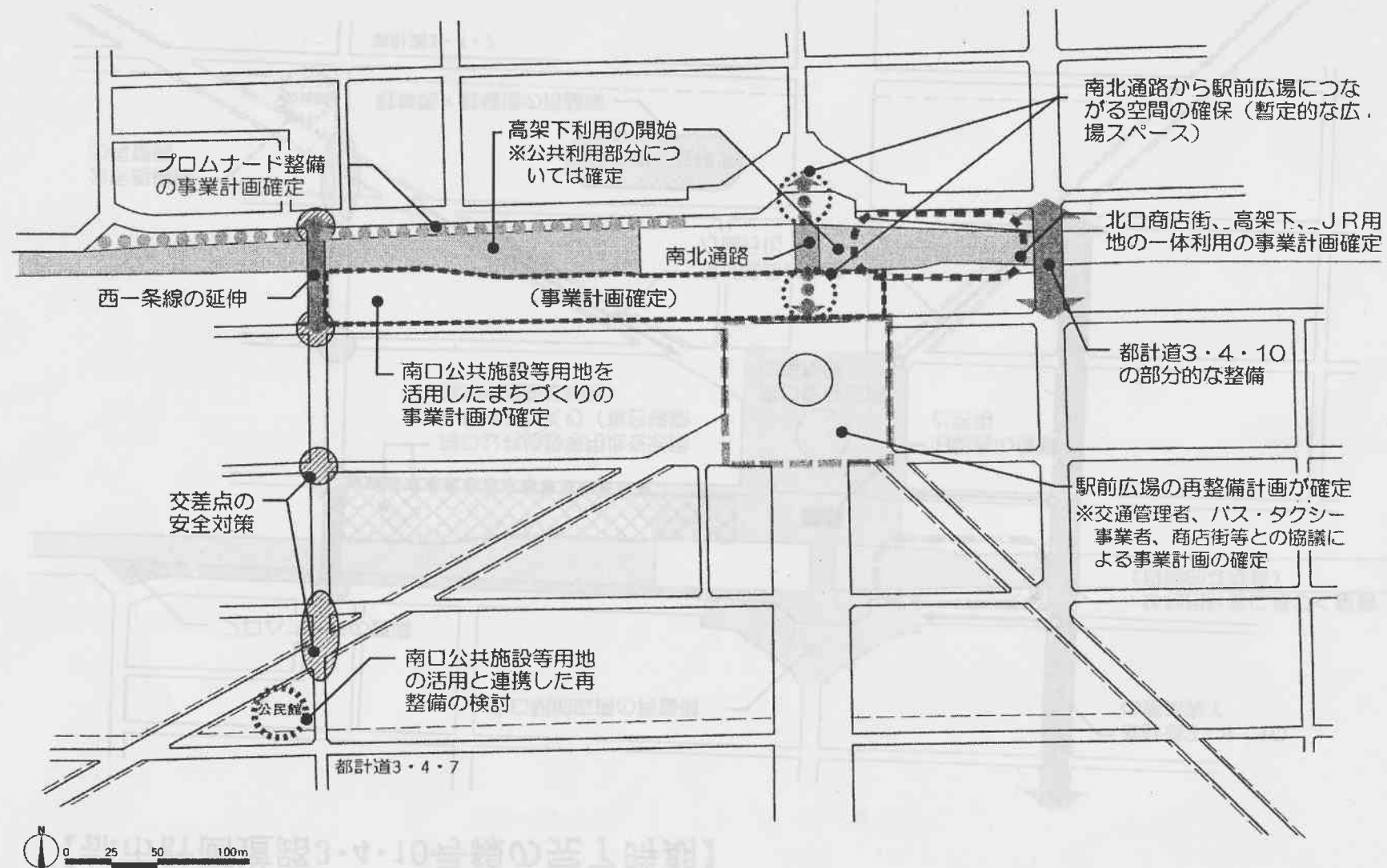


■第2段階：都市計画道路3・4・10号線の完了時期



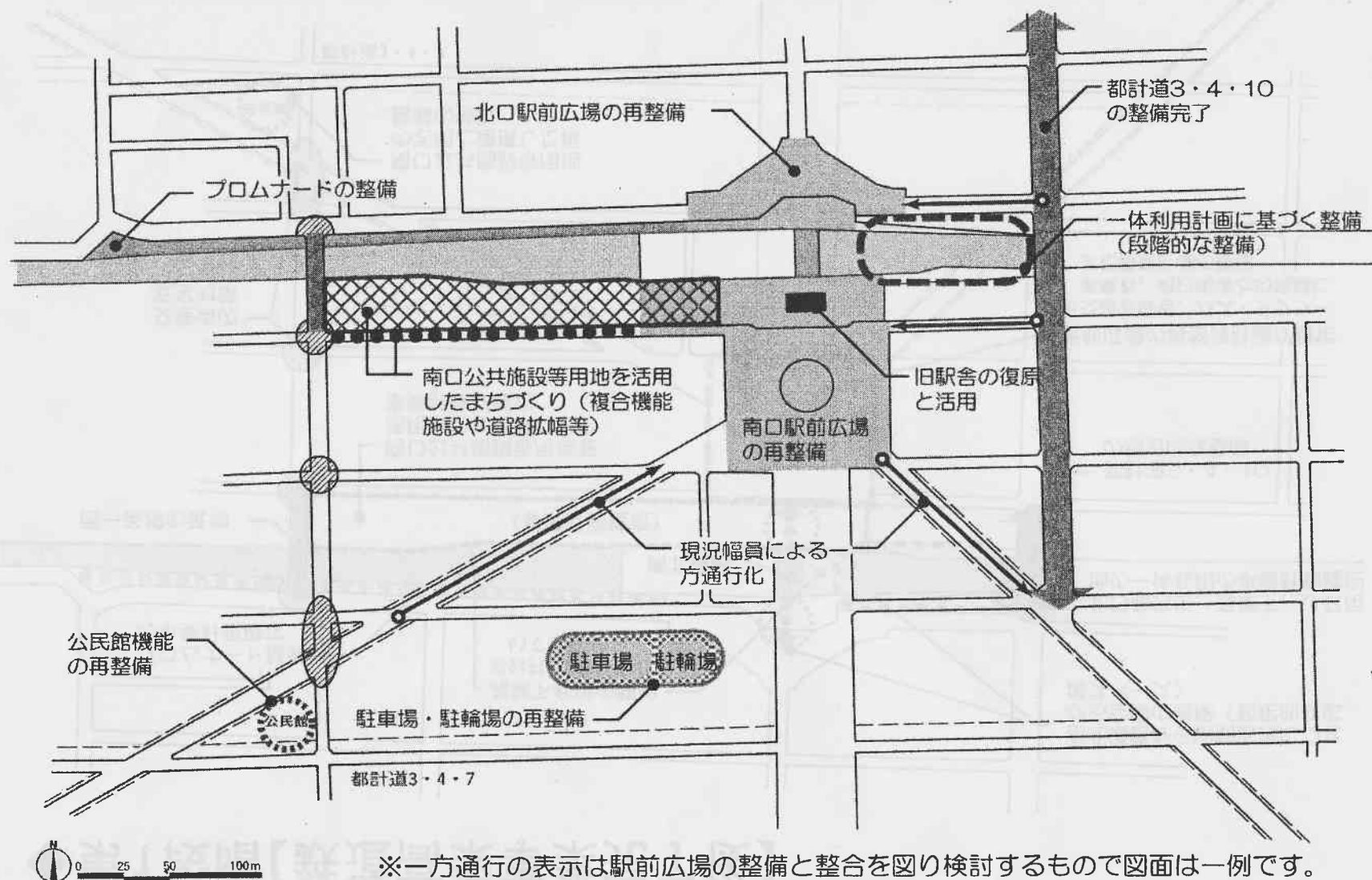
■第3段階：駅周辺交通網が整備された時期

◆第1段階【鉄道高架事業完了後】



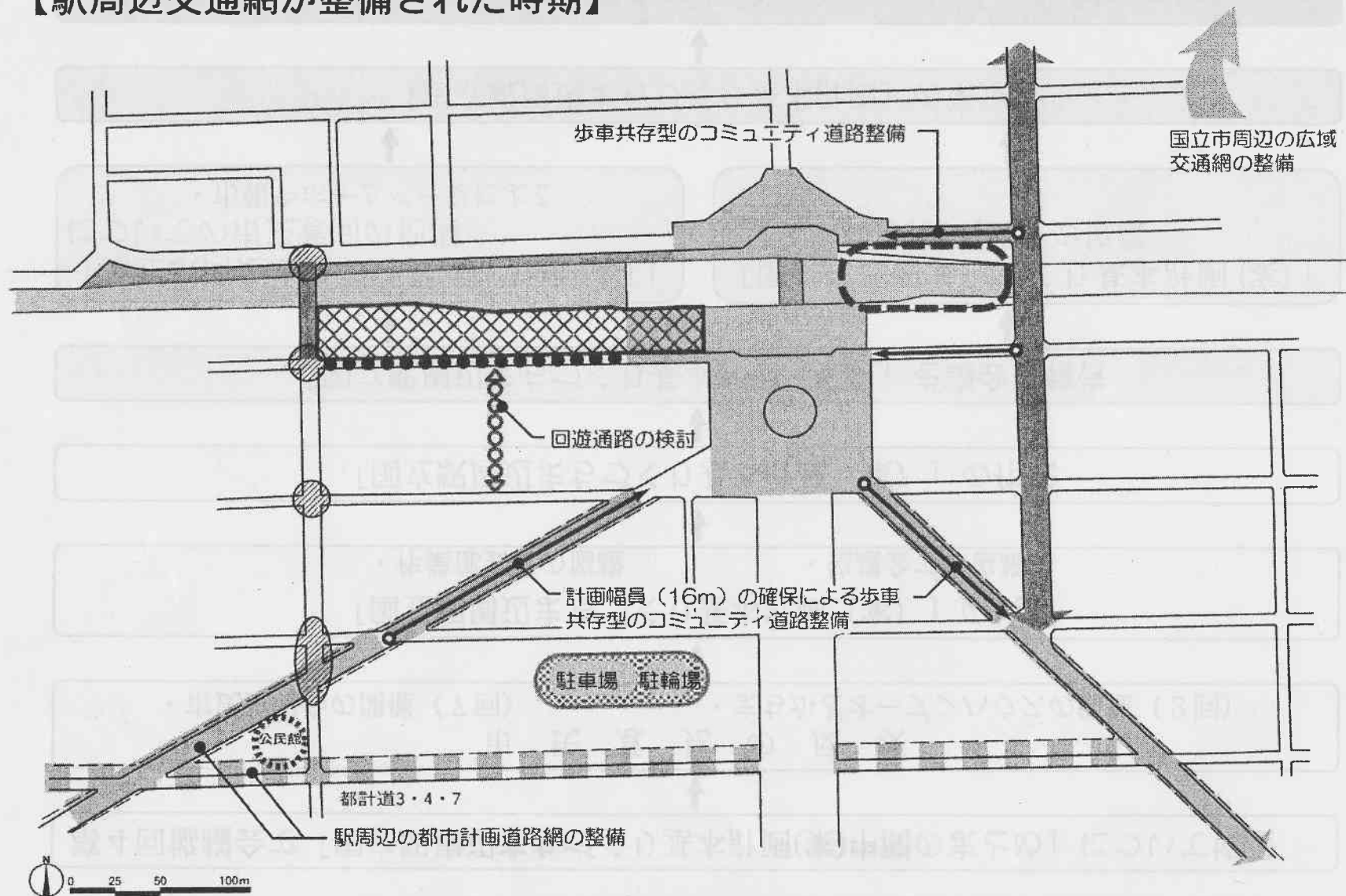
◆第2段階

【都市計画道路3・4・10号線の完了時期】



◆第3段階

【駅周辺交通網が整備された時期】



※一方通行の表示は駅前広場の整備と整合を図り検討するもので図面は一例です。

※都計道3・4・7の代替案として大学北側の通りの拡幅等も検討していきます。

9. 基本計画を策定する手順

